

5月の連休は、渋滞を避けて、安全運転で楽しいドライブを！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)



あつぶね～

この映像の訴求ポイントは…

- ◎一時停止を守るのはもちろん、二段階発進が事故防止に効果的。
- ◎カーブミラーには死角があります。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



堂々とした自転車の信号無視

この映像の訴求ポイントは…

- ◎見通しが悪い所の通過は、ブレーキに足を乗せておきます。
- ◎ルール違反の事故で怪我するのは歩行者や自転車です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



どらどらの急ブレーキ動作確認できましたが！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎見えない場所でのショートカットは厳禁。
- ◎見えづらい場所ではスピードを落とそう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



立体駐車場にて

この映像の訴求ポイントは…

- ◎優先・非優先よりも優先すべきは無事故です。
- ◎一時停止手前で減速せずに来る相手に注意。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



横断歩道で事故寸前

この映像の訴求ポイントは…

- ◎横断歩道手前で車が停止していたら、その先には何かがある。
- ◎信号のない横断歩道は歩行者優先です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】症状に気づきづらい緑内障…運転中の見落としも

緑内障は、視野が欠けたり、狭くなる症状が現れ、そのままほっておくと失明につながる目の病気です。患者の数は全国でおよそ300万、40歳以上の20人に1人が患っているといわれています。

この緑内障という病気、病気の症状である視野の異常は周辺部から出始めることが多いため、症状を自覚しづらいという特徴があります。緑内障を患うと、視野のなかで見えていない部分が出てきます。これを視野欠損といいます。ところが、人間の目は左右2つの目で互いを補っていますので、初期の状態では、視野欠損に気づきづらいのです。このため、視野の中心部分で異常に気付いた時には、すでにかなり病気が進行してしまっていることが多いといえます。

緑内障による視野欠損で危険なのが自動車の運転です。視野のなかで見えない部分に人や信号機などが入ると、その存在に気付かず、見落とすことに繋がります。実際に、事故を起こしたドライバーが緑内障による視野欠損で歩行者が見えていなかったことが事故処理の過程で明らかになったケースもあります。

もし、あなたが車を運転していて、最近、信号や標識の見落としが頻繁に起きたり、急にそれまで見えていなかった人や自転車が目の前に飛び出してきた、というようなことが増えたら、緑内障による視野欠損の疑いがあります。

残念ながら、緑内障は一度発症すると、その症状を回復することは出来ないといえます。しかし、今は点眼による投薬や手術によって病気の進行を抑えたり、止めたりすることが出来ます。いずれにせよ、早期発見が大切です。何かしら視野に異常を感じたならば、出来るだけ早く眼科を受診して検査を受けることが必要です。また、緑内障を患いやすいのは近視の人、特に極度の近視の人と言います。今は特に異常を感じていなくても、極度の近視の人は40歳を迎えたら定期的に検査を受けることがお勧めです。

